ASUMA

Agri Support Machinery

三菱農業機械
ユーザー情報誌
15号

クローズアップ

特　集

- **畑作作業と管理作業の効率アップ**
- **ドローンの農業利用**

■ ASUMAフォーラム
新製品/整地作業機と管理作業機の紹介
三菱乗用管理機　MV170
三菱ミニ耕運機マイボーイ　MMR600A R N N
Deep Chisel（ディープ・チゼル）

■ 三菱ユーザー紹介
兵庫県丹波篠山市/高知県四万十町

■ ASUMA農業ファイル
ここまで来た農業用ドローン利用
㈱丸山製作所 スマートアグリ課取材

■ ファミリーライフ
ご飯賛歌/タレント　ダニエル・カール
コラム/足元にスポットを（作業靴）

農業の成長産業化の実現に向けて、技術発展の著しいロボット・AI・IoT等の先端技術を活用したスマート農業の社会実装に向けて、「スマート農業実証プロジェクト」が、日本全国で展開されております。近い将来、農作業が完全に自動化され、人々は農業機械が動くのをただ見ているだけなんてことが起きるかもしれません。

ただ、自動化が進展しても異常気象の頻発や消費者の嗜好の多様化の進展などから、これからも栽培に対する深い経験と知識が必要であること間違いありません。ますます農業のプロの治験が必要な時代だと思われます。

三菱マヒンドラ農機ではいつの時代も日本農業をお応援し、優れた農業機械の開発に努めてまいります。

PHOTO：とうもろこし

三菱農業機械　～ *Long Life* ～ 人も道具も、長く強く。

もっと足元にスポットを!

サラリーマンの間で、今靴磨きが見直されているそうです。たまにプロの靴磨きに磨いてもらうと気分が違うというのです。床屋へ行けば気分が一新するのと似ていますね。これはサラリーマンだけのことではありません。農家にとっても同じことです。農家の人は「どうせ汚れるのだから」と同じ長靴を履き続ける人が少なくありませんが、それでは仕事もはかどりません。もっと履物に気を配り、新しい気分で仕事に力を注ぎたいものです。

昔から農作業というと長靴と相場は決まっていたものです。雨の日も晴れの日も同じ長靴をはいて、どんな作業もこなしていました。それが最近は変わってきたようです。そもそも田植えの時とＪＡなどへ商談に行く時と同じ履物というのはおかしなものです。農作業でも危険性を伴うものから、圃場を見てまわるだけというものまで色々です。

サラリーマンも会社へ行くときと日曜日に買い物に行くときでは別の靴を履きます。農家も同じでしょう。なにをするか、どこへ行くかを考えて、履くものも替えるべきです。

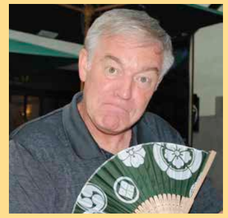
長靴といっても、最近は色々な種類が出回ってきています。完全防水のものから地下足袋のようなものまであります。本格的な農作業をするときはできるだけ長いもの、膝下までであるようなものがいいでしょう。短いと水やゴミなどが入ってきて作業がしにくくなります。買うときは、自分のサイズよりやや大きめのものを選んだほうがいいでしょう。ぴったりのサイズでは足が痛くなってきて、作業もはかどらなくなってしまいます。

できれば長靴と地下足袋形式のものと２種類を使いわけるといいでしょう。実際に農作業をしてみると、水や泥をかぶるようなときはそう多くありません。土作り、畝作り、田植えなど、ごく一部です。あとはスニーカーでもいいくらいですが、さすがに普通のスニーカーだと汚れも目立つし、耐久性もないので、すぐにつぶれてしまいます。

最近は「ワークマン」など工事現場作業者向けの店でおしゃれな地下足袋も売るようになりました。「ワークマン」では耐久性のある服なども販売しており、これを町歩きに買っていく人もふえているようです。こういう店では機能性だけでなくファッション性もある製品が並んでいますから、参考にするとよいでしょう。

農家の人も、これからはもっと足元に気を配り、日々の作業にメリハリをつけてもらいたいものですね。

ごはん讃歌



ダニエル・カールさん

Profile

ダニエル・カールさん（Daniel Kahl）
1960年３月　米国カリフォルニア州生まれ。70年代半ばに初めて来日。卒業後英語教師として山形県に赴任。その後、翻訳、通訳の仕事を開始、テレビなどに出演、山形弁を駆使してユニークな外国人として人気を得て各界で活躍中。日本グルメのネット紹介番組「EDOGAWA 美味 NAVI」を担当。

ダニエル・カールさんといえば、山形が有名ですが、来日のきっかけは。

色々あるんですが、近くの日系の女の子に小学生でしたが初恋に落ちまして、それ以来、日本に興味を持つようになりました。それで日本語を勉強するようになり、中学生からは空手も習い、益々日本人の知り合いが増えていくわけです。日本人の友達の家にも招かれるようになり、家の中の置物とかインテリアとか、扇とか掛け軸とか、非常にエキゾチックでオリエンタルなものに触れるわけです。全くアメリカ人の家とは違いますので益々日本に対しての興味が膨らんだのです。

初めて日本に来たのが、高校生の時に交換留学生制度で奈良県に。１年間奈良県の高校に通いました。それで独学で日本語を勉強しながら授業を受けました。下宿先のご夫妻からも教えてもらいました。ですから初めて覚えた日本語が「奈良弁」でした。

大学の時に２回目の留学で、大阪に来ました。この時は「京都とか佐渡とかあちこちに行き、その度に各地の方言を覚えるわけです。そして本国の大学を卒業した後、英語教師として山形に行き山形弁に出会うわけです。当時はまだ日本語学習の教材がほとんど無いので積極的に周りの人たちに話しかけリスニングをするわけですが、それが全く山形弁でした。標準語というものを習ったことなかったですね。

その後、今嬪の日本人女性とも結婚することができ、山形とは30数年関係が続いています。

苦手な日本食も「７回試すと味がわかるようなりました。

日本の食事は、アメリカと全く違うものですね。何しろ初めて出会うものばかりですから、食べられないものは沢山ありました。そんな時、ある人から「何事も７回試してみなさい」と言われました。初めは嫌いなことでも７回頑張れば大概は好きになるものです。それでもダメな時は縁がなかったものと思いなさい。せっかく日本に来ているのですから、何事も勉強と思って頑張りなさい。という意味だったと思います。最初の１年目はかなり頑張りました。日本語での失敗は沢山ありましたけど、以来この言葉を忘れずに過ごしてきました。

日本各地に行っておりますが、地方ごとに特色があるのがいいですね。アメリカとの大きな違いですね。アメリカでは簡単な料理ばかりですからね。日本は本当に工夫、二工夫して出されますからね。最初の頃は材料がわからない食べ物、特に豆腐です。四角く真っ白いもの。これは何、一瞬大理石かと思いました。

納豆、ところてん、かまぼこなどもそうでしたね。これは一体何だろうと思って、口に入れていました。

最近では、年のせいもあるかと思いますが、シンプルなものが好きですね。日本各地で色々なものをいただきましたが、全部美味しいものばかりです。仕事を引退する頃になったら山形に帰って、農業してみたいんですね。自分で食べるものを自分で育てるって良いですよね。

里帰りする時は。

アメリカに帰ることがあるんですが、アメリカの食事では３日も持たないですね。幸いなことに最近は日本食屋さんやアジア料理屋さんが沢山ありますから助かっています。特に実家のそばにラーメン屋さんが出来まして喜んでいます。アメリカにも全国に寿司屋さんをはじめとする日本食屋さんが増えています。

ただアメリカでも東部、西部の海岸沿いのお店は良いんですが、中央部のお店はお勧めできません。以前ですね、試しと思ってある寿司屋さんに入ったことがあるんですが、全くダメでした。どう見ても「お寿司」とは違うものが出てきましたね、残念でした。そもそも殆どのアメリカ人は生の魚は未だに食べませんからね、特に中央部の人々は、アメリカ人は、何事も７回試すことはしませんからね。日本の農業もアメリカ式とは相当違っていますね。限られた土地をぎりぎりまで耕し、有効活用していますね。ものを大事にすることがいいところですね、アメリカ人ですが日本の農業も応援しています。

ASUMA読者広場　当るといいな♪

皆さまお気付きでしょうか。三菱農業グループでは、三菱農業機械をお客様に長く使っていただくことで、お客様との絆を深め、関係を長く強くしたいと願う気持ちを表現したブランドコンセプトメッセージ「～Long Life～人も道具も、長く強く」を発信しております。
これからもユーザーの皆様にご信頼をいただけることを目標に活動してまいります。

編集部では楽しいプレゼントが当たるクイズを用意しました。

次の中から三菱農業機械のコンセプトメッセージを当ててください。

Ⓐ 人も道具も、長く強く
Ⓑ 人も道具も、短く弱く
Ⓒ 紐も襷も、短く弱く

お答えはハガキに①お答え②住所・氏名・年齢③その他ご意見・ご感想等を書いて下記の宛先に2019年10月末日までにご応募ください
抽選で**ダニエル・カールさん色紙**
（作業帽とブルゾンとトラクタ・ミニチュアの3点セット）が当たります。

ご応募はこちらへ　〒340-0203 埼玉県久喜市桜田2-133-4
三菱マヒンドラ農機㈱ASUMA編集部

前号（ASUMA 14 号）の当選者（色字は色紙とも）は下記の通りです。
■梶野京子様 / 埼玉県深谷市　■柴田光明様 / 岩手県一関市　■坪内正勝様 / 岐阜県本巣市
■藤野猛三様 / 滋賀県東近江市　■山本さつ子様 / 岩手県岩手郡

情報誌アスマ編集部へのたくさんのご意見・ご感想・励ましの言葉ありがとうございました。

本　　社　島根県松江市東出雲町揖屋 667-1　☎ 0852(52)2111（代）
東京事務所　埼玉県久喜市桜田 2-133-4　☎ 0480(58)7050
販売会社　三菱農機販売（株）本社 埼玉県久喜市桜田2-133-4　☎ 0480(58)9524
北海道支社 ☎0123(22)1234　東北支社 ☎022(207)3711
関東甲信越支社 ☎0480(58)9521　中部支社 ☎0776(27)3078
西日本支社 ☎0869(24)0820　九州支社 ☎0942(84)1888

三菱マヒンドラ農機株式会社
http://www.mam.co.jp
201907